

平成31年度 【教科シラバス表】

教科名(保健体育) 科目名(体育) (2)単位 (1)学年 履修規定(必修)

担当者(熊谷均 湯澤一道)

1. 教科書、副教材

教科書	
副教材	

2. 科目の達成目標

各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

3. 学習の計画

		進行計画	授業概要	考査範囲	時間 (予定)	
前期	4月	A 体づくり運動	体力を高める運動として、持久走・体づくり運動を行う	第1回	13	
		体育理論	体育理論		2	
	5月	E 球 技 ソフトボール (男子)	ソフトボール: 個人技能・ゲームの進め方 簡易ゲーム		第2回	18
		バレーボール (女子)	バレーボール: 個人技能と攻守のフォーメーション ゲームの進め方・簡易ゲーム			
	7月	D 水 泳 クロール 平泳ぎ	クロール・平泳ぎの技能の習得 50mの記録を計る		第3回	18
	8月					
9月	E 球 技 サッカー (男子) ソフトテニス (女子)	サッカー: パスやドリブルなどの個人技能の習得 ゲームの進め方・簡易ゲーム ソフトテニス: 基本技能(ストローク・サービス)・簡易ゲーム	第4回	16		
10月	体育理論	体育理論				
後期	11月	E 球 技 ラグビー (男子) バドミントン (女子)	ラグビー: 個人技能・ユニットプレー・ゲームの進め方 バドミントン: 各種フライト・サービスの習得 シングルスとダブルスのゲームの進め方	第5回	18	
	12月					
	1月	E 球 技 バスケットボール (男子) ソフトバレーボール (女子) 卓 球 (女子)	バスケットボール: 基本・集団技能の習得・簡易ゲーム ソフトバレーボール: フォーメーション練習とゲーム 卓 球: シングルスとダブルスのゲーム			16
	2月					
	3月	体育理論	体育理論			
評価の 観点・方法	観点別評価により、はじめ・なか・まとめのそれぞれの学習課程における評価をする。したがって、単に技能という観点だけでは評価とされない。実践を通しての学習であり、出欠席は意欲・関心・態度の観点からも重要視する。					
学習への 注意・助言	さまざまな観点から総合的に評価するため、体育理論やールなどの知識を学ぶことが大切です。自らの健康や安全に留意し、授業を欠席しないことも必要です。課題解決や練習方法を工夫することは、生涯を通じて継続的に運動をおこなうことに繋がります。					